道 路 占 用 掘 削 工 事 竣 工 届

年　月　日

町田市長　　殿

申請人　住 所
氏 名
連絡先

下記のとおり、工事が竣工しましたのでお届けします。

許 可 番 号	町建管占第　　号	許 可 年 月 日	年　月　日
着工年月日	年　月　日	竣工年月日	年　月　日
工 事 件 名	水道管・排水管・ガス・電気・電話・（地上・地下）		
工 事 場 所	町田市 （車道・歩道）		
施工業者	TEL		
添 付 図 書	許可書の写し・案内図・写真（施工前から本復旧までの段階ごとの写真） その他　　各１部		

備	
考	

竣工写真撮影方法

撮影の方法

a．各工種の撮影は、同一箇所を施工の各段階において、施工状況や形状寸法、試験状況等を同一位置、同一方向から同一背景を画面に入れて行う（図　　1）。

b．最終工程の完成時の写真にも、丁張を入れて撮影する。

c．写真撮影は、その工種の完了を証明するものなので、他の工種の手直しややり残しが見受けられるような写真は撮らない。

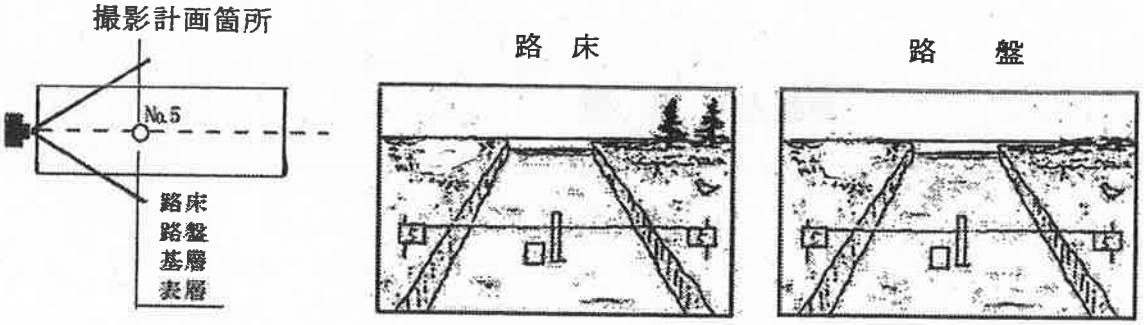


図　　1

ただし、上記写真で寸法が判読しにくい場合には、全景（図　　1）を撮影した後、接近して局部を撮影する（図　　2）。

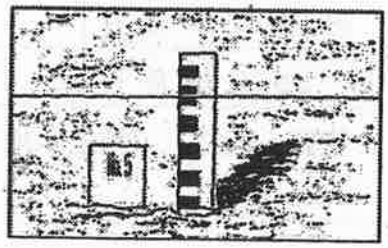


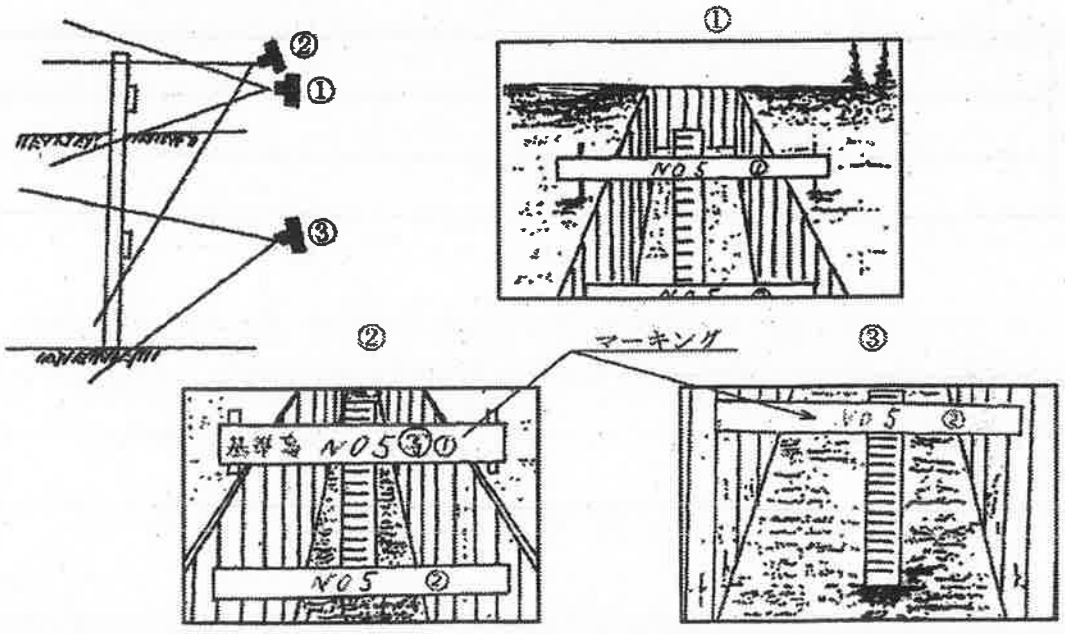
図　　2

（注）1．測点番号を含めて撮影する。
2．幅員が広い場合、測定尺を等間隔に数カ所撮影する。

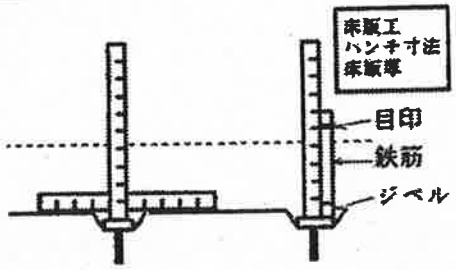
床付が深い場合の撮影

基準高点（丁張）から床付までの高さを撮影する場合には、丁張を設置して、横木に撮影計画番号をペンキ又はマジックで表示する。全景を撮影した後、接近して、丁張又は基準線（水糸）並びに測定尺の零位点が明確にできるよう拡大撮影する。

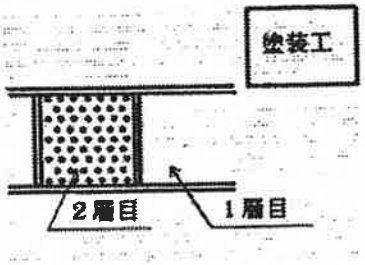
基準高さを丁張とした場合



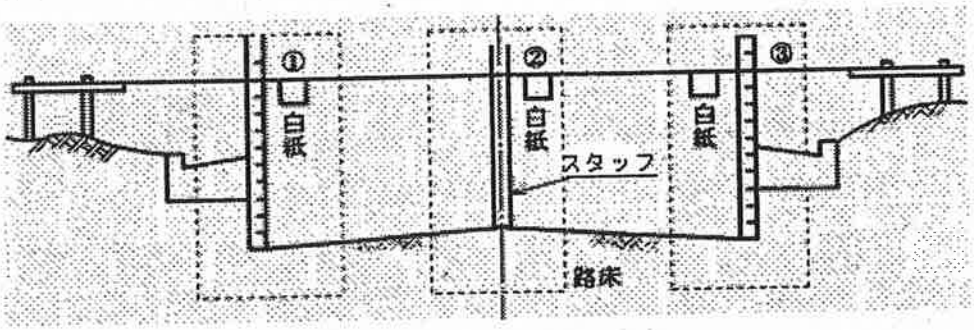
床版工（床版厚、ハンチ高、幅）



塗装（塗装施工中）



舗装工及び路盤工（断面測定例）



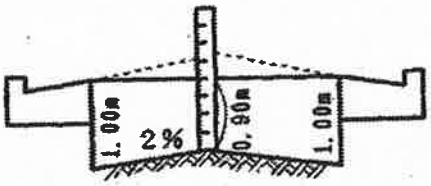
（注）1．全景を撮影した後、①、②及び③をそのネガ等を利用してトリミング（拡大）する。トリミング不能な場合は、全景撮影後、①、②及び③をそれぞれ部分的に撮影すること。

2．下層、上層路盤とも上図に準ずる。

3．曇、夜間の場合は、水糸に白紙をかけて高さを明示する。

4．黒板に横断勾配の表示をする。

5．夜間は、中心部の撮影が難しいので、測点を明示した両側とつなぎ写真とする。

6．片側施工の場合又は施工幅員の大きな場合は、丁張を基準とする。

黒板記載例